

第21回定期大会開催

2021年11月4日(木)和歌山市「ホテルグランヴィア和歌山」において、「第21回定期大会」を開催しました。

運動方針・予算・役員体制など第1号議案から第6号議案を提案し、全議案が承認されました。

また、新役員として、会長に濱地正由前事務局長、事務局長に長田吉文前会長代行がそれぞれ就任し、池田祐輔前会長は顧問に就任することとなりました。

その後、新役員代表あいさつの中で、濱地新会長からは「労働力不足の深刻化、激甚化する自然災害への備え、SDGsの推進、政治的課題など連合和歌山として多くの課題が山積しているが、新執行部でしっかり心合わせをする。そのためにも大いに議論し、コミュニケーションを重視した組織運営を心掛け、連合運動をさらに前進させていきたい。」と意気込みを述べられ、最後に、新会長による団結ガンパロウによって大会が締めくくられました。



連合和歌山役員体制

役職	氏名	出身産別
会長(専従)	濱地 正由	電力総連
会長代行	山本 龍一	基幹労連
副会長	加藤 康夫 香西 真 朴 正隆 臼杵 豊 湯川 正文	自治労 UAゼンセン JP労組 電力総連 電機連合
事務局長(専従)	長田 吉文	自治労
副事務局長(専従)	江原 健人 小山 淳	自治労 UAゼンセン
執行委員	小上 智行 田中 博景 佐藤 正之 南村 涼 津田 美保 川本 真樹 岡本 貢樹 宇田 裕計 北道 剛士 奥田 匡敏 谷口 康浩 鳥尾 陽光 板谷 光芳 朝井 照貴 辻本 勝己 高信としみ	自治労 UAゼンセン 基幹労連 基幹労連 JP労組 電力総連 JAM JR連合 JEC連合 情報労連 私鉄総連 自動車総連 運輸労連 日教組和歌山 JR総連 JAM
会計監査	櫻尾 龍介 山中 理 辻 誠之	全労金 国公総連 全労済労組

連合和歌山の森 下草刈り

2021年11月6日（土）日高川町「連合和歌山の森」において、下草刈りを実施しました。

連合和歌山では、環境問題への取り組みの一環として、2006年から和歌山県の「企業の森」事業に参画し、日高川町寒川に「連合和歌山の森」を所有しており、事業参画以降、各構成組織の組合員参加のもと定期的に下草刈りを実施しています。

本年については、全体で47人が参加し、紀中森林組合の方の指導を受けながら、およそ1時間下草刈りの作業に励みました。



「2022年度政策・制度要求と提言」対県申し入れ

2021年11月17日（水）和歌山市「和歌山県民文化会館」において、和歌山県に対し、「2022年度政策・制度要求と提言」を申し入れました。

「政策・制度要求と提言」は、毎年、地域課題を集約し、連合和歌山において策定しているものであり、4月以降、構成組織・地域協議会・推薦議員から意見集約し策定しました。

濱地会長から仁坂知事に対し要請書を手渡した後、「デジタル社会の構築に向けた取り組み」「地域雇用対策の推進」の2テーマについて意見交換を実施しました。

本申し入れには、連合和歌山三役・政策局から12人が出席しました。



青年委員会・女性委員会第31回総会

2021年11月11日(木)和歌山市「ルミエール華月殿」において、青年委員会第31回総会・女性委員会第31回総会を開催しました。

活動計画・役員体制など各議案を提案し、承認されました。

また、新役員として、青年委員長に尾藤前副委員長、女性委員長に坂梨前副委員長がそれぞれ就任しました。



総会後には、青年委員会・女性委員会合同で学習会を実施しました。

一つ目は、「にも関わらず笑おう」と題した「笑いヨガ体験」を大阪ラフタークラブ 青木まきこさんから、二つ目は、「連合 性的指向・性自認(SOGI)の取り組みについて」と題して連合 井上久美枝 総合政策推進局長からそれぞれご講演をいただきました。

青年委員会総会に35人、女性委員会総会に36人がそれぞれ参加しました。



青年委員会役員体制

役職	氏名	出身産別
委員長	尾藤 羊一	JAM
副委員長	杉山 亮太 高尾将太郎	基幹労連 私鉄総連
事務局長	河原田 壮	電機連合
幹事	山口 悌玄	自治労
	澤井 知博	UA ゼンセン
	松本 卓也	JP 労組
	青木 康佑	電力総連
	藤々木正幸	JR 連合
	松田 隆司	情報労連
	中谷 友紀	JEC 連合
	坂東 裕貴	自動車総連

女性委員会役員体制

役職	氏名	出身産別
委員長	坂梨 美鈴	運輸労連
副委員長	津田 美保 岡本 由美	JP 労組 情報労連
事務局長	南村 涼	基幹労連
幹事	長岡 祐希	自治労
	小倉 直子	UA ゼンセン
	奥田 泰子	電力総連
	金森 桃子	JAM
	瀬藤紗智子	自動車総連
	秦 千穂	日教組



連合エコライフ

ここから
ダウンロード



ピークカットアクション冬

～職場やテレワークでできることから始めてみよう!～

あなたの少しの行動が、未来の自然と笑顔を守ります。 [■]印は、自宅等でのテレワークにおいても心がけたい項目

OA機器

- 省エネモードに設定
- 電源はこまめに切る
- 共有機器は台数を必要最低限に
- 仕事終了時に共有機器の主電源オフ。できればテーブルタップで。

1日1時間の利用短縮で、年間約850円の節約、CO₂ 15.4kg削減※
(※デスクトップの場合)

空調

- 職場環境にあった服装の調整
- ウォームビズの実践
- 適度な換気、適度な温度と湿度設定に
- エアコンのこまめな清掃

毎日設定温度を1℃下げて、ひと冬約1,430円節約!

照明・明るさ

- 未使用時にはこまめな消灯
- LED電球への買い替え
- 電球の数の間引き
- あかりの調整で目の負担軽減

LED電球で、年間2,430円の節約、CO₂ 43.9kg削減!

冷蔵庫(自動販売機)

- 温度設定を控えめに
- 余分な開閉はしない
- 開閉時間は短時間で

中身を半分に減らして年間約1,180円の節約、CO₂ 21.4kg削減!

トイレ

- 温水・便座の温度設定を控えめに
- 流水洗浄時と使用後は、蓋を閉める

フタを開めるだけで年間約980円の節約、CO₂ 17kg削減!

フロア間の移動

- EV・エスカレーターの使用を最低限に

階段の使用で、血行促進・運動不足の解消にも!

連合和歌山 Facebook アカウント

連合和歌山では、Facebook アカウントを開設し、日々の活動やお役立ちの情報を随時更新しています。

隣のQRコードからすぐにアクセスできますので、ぜひご登録をよろしくお願いいたします。

